

市の助言内容と申出者の意見

市の助言		申出者の意見
<b>1 建築物のデザイン等について</b>		
1	<p>計画建築物西面のカーテンウォールは、それを見る時間や季節、場所によって表情が大きく変化するものとなることが想定されます。外観デザインの決定にあたっては、様々な条件のもとで実際にどのように見えるのか（計画建築物低層部において建築物の中と外のつながりが損なわれているように見えないかを含む。）についても検証するなど、丁寧な検討を行うよう努めてください。</p>	<p>落雪等の雪害に配慮しつつ時間や場所による表情の変化について検討を継続します。</p> <p>（計画建築物低層部に関して）1F 広場と前面道路とのつながり確保をパースで確認したので、現状のままとします。</p> <p>※（）内は、札幌市が追記</p>
2	<p>大通側から計画建築物を見たときには、計画建築物北側の歩道状空地、北面のガラススクリーン、屋内広場、店舗の4つの要素が一体となって視界に入ることが想定されるため、建築物の中と外とのつながりを意識しつつ、これらの要素をトータルデザインにより計画・運用するように努めてください。</p>	<p>連続した4つの要素の一体感を目指して、その仕上材選定、色彩計画を検討します。</p> <p>家具・植栽のレイアウトについては、広場内のアクティビティを考慮し検討します。</p>
3	<p>駐車場の出入口は、開口部が大きく印象が強くなるため、道路から見える内側の部分についても見え方を検討するようにしてください。</p>	<p>特に西3丁目通りからの見え方を意識し、仕上・サイン表示等を検討します。</p>
<b>2 みどり・外構について</b>		
1	<p>大通公園は、都心における骨格的なみどりの空間であるとともに、花壇に咲く花などによって四季の彩りが感じられる空間ともなっています。計画建築物においても、大通公園と連携した魅力的な空間を作っていくため、みどりのなかに彩りが感じられる植栽計画や植栽の管理・運営を行っていくことができないか、検討してください。</p>	<p>可搬型植栽計画の利点を生かし、季節に応じた運用などを検討します。</p>
2	<p>敷地内の歩道状空地の路面の仕上げは、歩道との一体感についても考慮して計画するようにしてください。</p>	<p>前面歩道と一体的な歩道状空地となるよう、仕上材や色彩計画に配慮します。</p>

3 サイン計画について	
1	<p>計画建築物に設けられる公共的な空間（以下「公共的空間」という。）が多くの人に利用されることで、賑わいの創出につながり、景観的にも良い影響をもたらすと考えられることから、サイン計画にあたっては、訪れる人の動線を想定したうえで、必要な位置に必要な情報を集約して設置するなど、公共的空間が誰にでも利用しやすく移動しやすいものとなるよう検討してください。また、計画建築物の周辺には観光客を含む様々な人が訪れることが想定されることから、周辺の案内マップなど、計画建築物を訪れる人以外に対しても情報を提供するサイン等を設置することができないか、検討されることを期待します。</p>
	<p>各所エントランス近傍の適切な位置にサインを配置し、そのデザインを統一することで、案内性の高い計画とします。</p> <p>周辺案内については、市内類似事例を参考にしながら、今後検討します。</p>
4 記憶の継承について	
1	<p>景観は、目に見えるものだけでなく、それが形作られた背景や人々がまちに抱く印象など、幅広い視点でとらえることが重要です。現在敷地内にある建築物（以下「既存建築物」という。）は、長らくこの地に存在し、多くの市民から愛着を持たれている建築物であると考えられることから、既存建築物の記憶や歴史を継承していくための方策を引き続き検討し、実施されることを期待します。</p>
	<p>銀行の歴史、既存建物の意匠の紹介の仕方について、今後検討します。</p>